

【就労部会】

課題

- ① 障害者求職リストは、これまで障害者雇用の無かった事業所からの問合せがあり、企業への情報提供にはなっているものの、結果にはなかなか結びつかない。
- ② 事業所が増加しており、特別支援学校等卒業後の進路をスムーズに行うため、学生や保護者、学校関係者等への情報提供が必要。
- ③ 福祉的就労から一般就労への支援強化のため、就労移行支援事業所だけでなく就労継続支援A型B型事業所の支援が必要。

計画

- ① 企業に向けての情報発信等
- ② 「就労移行支援事業所説明会」の開催
- ③ 市内就労事業所職員のスキルアップを図る。
- ④ サービス部会との意見交換会の開催

現状の取り組み

1. 機関紙 第3号の発行
 - ・事業所紹介（就労移行支援事業所）
 - ・障害者を雇用している企業の声や就労している当事者の声を掲載
 - ・多良見商工会、諫早商工会(旧北高)、津久葉振興局 100社に配布
 - ・第2号は商工会議所会員1000社と中核工業団地の100社に配布。求職リストを見た建設業とサービス業の2社から問い合わせがあった。
2. 研修会について
 - ① 11月8日 サービス部会との合同研修
内容：「精神障害者の理解について」
参加者：就労系の事業所より約40名参加
 - ② 2月8日（予定）市内就労事業所職員のスキルアップ研修
内容：「発達障害者の理解と就労支援のあり方を考えよう」
講師：発達障害者支援センター しおさい

今後の取り組みについて

- ・特別支援学校の先生を対象とした障害福祉サービスに関する説明会について検討（実習の際に利用できるサービス、18歳になって利用できるサービス、計画がなくても利用できるサービスなど）
- ・機関紙の継続発行
- ・障害者総合支援法の法改正に伴い、研修会を開催

【こども部会】

課題

- ① 障害児通所事業所は年々増加しているが、適切な利用ができていないか。ただの預かりや学童クラブの代わりに使われていないか。
- ② 個別の教育支援計画や放課後等デイサービス計画の連携等、学校と事業所が積極的に連携を図ることが必要であるが、それぞれのやり方の違いからうまく連携が取れない場合がある。
- ③ 医療的ケア児とその家族を地域で支えられるように、課題の整理や協議が必要。

計画

- ① 放課後等デイサービス事業所、児童発達支援事業所の質の向上
- ② 「諫早こどもデイネット」の支援
- ③ 「諫早こども支援連絡票」の活用の推進（教育との連携）
- ④ 医療的ケア児のモデルケースを通して、支援についての課題を検討。
- ⑤ 「こども支援相談会」の開催、相談用パンフレット等の作成。

現状の取り組み

1. 関係機関の連携強化

「こども支援連絡票」の活用状況

- ・全体的に浸透してきている
- ・保育所等訪問支援では全体で活用が来ている
- ・連絡先が互いに分かって連携がしやすい関係づくりにつながっている
- ・児童発達支援は幼稚園、保育園の利用者が送付対象となっており、今後の活用状況を確認していく。
- ・放課後等デイサービス事業所と学校との連携について学校側の評価についても確認し今後の活用に生かしていく

2. こどもデイネットの活動

11月27日開催

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所 22事業所参加（諫早市内の事業所 24事業所）

◇児童発達支援ガイドラインについて確認

本人支援だけではなく移行支援、家族支援など地域支援において民生委員、医療機関の連携など地域における連携の役割として求められている。

◇こども支援相談会の次年度の開催について

- ・5月6月に新規で入る方が多く、5月6月開催であれば当年の利用開始につながるのではないかと。
- ・5月6月に就学の相談（オープンスクールの情報を早めにわかる）

◇こどもデイネットの研修について

- ・事故があったときの対応について研修はどうか
- ・母子保健師の役割について事業所に知って頂き連携を取りたい

◇「こども支援連絡票」の活用について検討

今後の取り組みについて

- ・こども支援相談会について内容の充実について検討
- ・こどもデイネット（事業所連絡会）の取り組みの強化

【サービス部会】

課題

- ① 相談支援事業所の抱える現状や様々な課題がありながら、共通したものとなっていないため、市の課題等になっていない。
- ② 相談支援専門員数が少ない事業所もあり、相談体制や支援体制が不十分ではないか。
- ③ 事例検討会を部会全員で一緒に行っているが、検討が十分に行われていないのではないか。
- ④ 障害福祉サービス等の適切な利用のためのマニュアルが必要ではないか。

計画

- ① 地域の相談支援体制の強化
 - ・市内の相談支援事業所の現状や課題、ニーズを共有し、課題を整理する。
 - ・相談支援専門員同士のサポートのための仕組みづくり。
 - ・就労部会との意見交換会の開催
 - ・研修会の開催
- ② サービス利用についての検討
 - ・障害福祉サービス等マニュアルの検討を継続する。

現状の取り組み

1. 情報共有・意見交換

別紙参照

2. 研修会について

- (1) 11月8日 就労部会との合同研修
内容：「精神障害者の理解について」
参加者：就労系の事業所と合わせて約70名参加
- (2) 2月（予定）地域コーディネーター研修
内容：法改正にむけて

今後の取り組みについて

担当しているケースの情報交換を通してニーズや課題を整理していく

【地域移行部会】

課題

- ① 地域移行・地域定着の利用が進まない。制度利用が必要な入院患者へ情報提供できるよう、患者と接触する機会が多い看護師等に制度周知する必要があるのではないかな。
- ② 退院後の住まいとして一般住宅を希望する者もいるが、保証人や身元引受人がない等の理由で、入居できない場合がある。また、GHにおいても、退院のタイミングで GH の空きがなく入居できないことがある。
- ③ 病院や施設から地域につなぐための課題を整理するために、モデルケースとして部会で検討する必要がある。

計画

- ①地域移行・地域定着制度の周知
病院等関係機関と連携し、院内学習会等を通して制度の周知を図る。
- ②退院後の地域の受け皿についての検討（住居）
- ③モデルケースをもとに、病院や施設から地域へつなぐための支援の流れを学び、課題の検討等を行う。

現状の取り組み

◇事例の検討

(事例)

- ・ 40代 男性
- ・ 精神障害者手帳 2級
- ・ 精神科病院に10年以上入院
- ・ 生活保護受給中
- ・ 地域移行支援決定期間 平成29年7月～12月

(検討意見)

課題	主な意見
移行まで・制度	<ul style="list-style-type: none">・長期入院者の気持ちの揺れや不安（退院したい～止める～退院したい～？）。・環境を変える難しさ（長期入院者に限らず、環境の変化に弱い特性であれば、より慎重に取り組んだ方がよい）。・何かあった時は医療機関に戻ることが出来たら安心できる。・病院内で特別に退院に向けたプログラム作りをしている所はなく、デイケアでのOT活動の一環で訓練している所が多い。
医療	<ul style="list-style-type: none">・退院後の継続通院や薬の管理は重要・訪問看護、デイケアを活用できるのか。
経済	<ul style="list-style-type: none">・生活保護費は引っ越し費用などどこまで出るのか。・「金銭管理」には社協を利用？・保護費から購入出来ない家電があるので、それは貯めたお金で購入しなければならない。
生活・支え	<ul style="list-style-type: none">・モチベーション（退院してひとり暮らしをする）を維持するには？・アパート暮らしで、「生活リズム」が保たれるのか。・親についての情報が必要・家族をまじえた面談も必要では・これから先精神的な面で親子の関係をつないでおく方が良いと思う。

生活・支え	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の居場所は、デイケアのみ？地域活動所（仲間が居て、過ごせる）の見学が必要。 ・デイケアの通所仲間と交流し、失敗談を含めて教えて貰うことが一番良い。 ・日中活動の場に通う体制を整え生活リズムを保つことが大切。 ・ひとり暮らしをする上でのリスク（デメリット）についても少しずつ説明していく必要もある。
住居	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を持ち、生活保護受給中の方が民間アパートの契約できるか。 ・不動産屋さんから「疾病名」だけで入居を断られたケースがあり、障害への理解がまだ不十分のようで、部会へ不動産関係にも参加して頂き、一緒に考えていけたらと思うし、不動産屋さんがどういう風にこのケースに対応されていくのかみていきたい。 ・保証人問題（保証をしてくる人がいない。） ・保証協会の利用
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・外の世界に繋ぐのにもっと積極的に関わって貰えたら良いと思う。 ・相談支援事業所の月2回の面談で、本人のモチベーションがあがるのか・・・限界があるのでは。 ・実際に見ることで実感出来ると思うので、具体的に動いてみては。 ・制度の隙間から落ちる人を作らないで欲しい。相談支援事業所が積極的にフォローして貰えればと思う。

今後の取り組みについて

事例を通し地域移行の課題についてさらに整理をし、課題を明らかにしていく